

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東  
 コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平中 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 矢後 敏之 (TEL) 045-543-6802  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	127,412	△5.5	1,607	889.6	1,461	—	464	—
2025年3月期第3四半期	134,819	4.4	162	△84.0	△1,748	—	△5,389	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,870百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △6,689百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	19.66	19.33
2025年3月期第3四半期	△220.98	—

(注) 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	131,373	59,352	38.2
2025年3月期	136,601	61,204	38.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 50,168百万円 2025年3月期 52,009百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	169,000	△5.3	2,600	771.2	1,800	—	800	34.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	25,055,636株	2025年3月期	25,055,636株
2026年3月期3Q	4,460,059株	2025年3月期	756,859株
2026年3月期3Q	23,602,936株	2025年3月期3Q	24,387,032株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の外交・通商政策動向、地政学リスク、中国における経済減速が重なるなど、過去に例を見ない不確実性が高い状況が続いております。

当社グループが関連する自動車産業の生産台数は、昨年からの中国における日米欧系OEMの減産影響、米国の関税影響などにより、厳しい状況が続いております。

このような状況下において当社グループの売上高は、日本、アジアの生産台数の減少に加え、米州の為替換算影響や金型売上減少などにより、前年同期比5.5%減の127,412百万円となりました。営業利益は、売上減少に伴う減益や昨年より操業開始したヨロズサステナブルマニュファクチャリングセンター(YSMC)のフル生産に向けた準備費用などがあったものの、2025年1月より実施した全社活動である「Success 25V」合理化活動の推進や、品質改善などにより、前年同期比9.9倍の1,607百万円となりました。経常利益は、営業利益の改善などにより前年同期比3,209百万円増の1,461百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比5,853百万円増の464百万円となりました。

なお、連結決算における海外子会社損益の円換算には、各子会社決算期の平均レートを使用しており、当第3四半期連結累計期間の米ドルレート(1～9月)は、148.13円/ドル(前第3四半期連結累計期間は151.45円/ドル)であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### ①日本

売上高は、生産台数の減少や金型売上の減少などにより、前年同期比6.0%減の42,407百万円となりました。営業利益は、YSMCのフル生産に向けた準備費用の計上などもあり、前年同期比60.6%減の649百万円となりました。

#### ②米州

売上高は、為替換算の影響やメキシコでの金型売上の減少などにより、前年同期比1.1%減の65,943百万円となりました。営業利益は、品質改善と合理化の効果などにより前年同期比1,746百万円増の530百万円となりました。

#### ③アジア

売上高は、中国での生産台数の大幅な減少に加え、タイ、インドネシアなどでも生産台数が減少し、前年同期比18.4%減の23,873百万円となりました。営業利益は、生産台数が大幅に減少する中でも合理化に努め、前年同期比651百万円増の277百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ5,996百万円減少の75,163百万円となりました。これは、「製品」が1,207百万円増加したものの、「現金及び預金」が6,276百万円、「その他」が893百万円、「部分品」が765百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ767百万円増加の56,209百万円となりました。これは、「建物及び構築物（純額）」が961百万円減少したものの、「投資その他の資産」が1,629百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ5,228百万円減少の131,373百万円となりました。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ848百万円減少の50,443百万円となりました。これは、「その他」が1,010百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が1,981百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ2,528百万円減少の21,576百万円となりました。これは、「その他」が396百万円増加したものの、「長期借入金」が2,757百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ3,377百万円減少の72,020百万円となりました。

### (純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,851百万円減少の59,352百万円となりました。これは、「その他有価証券評価差額金」が1,316百万円、「為替換算調整勘定」が732百万円増加したものの、自己株式の取得により「自己株式」が3,667百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月11日の「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,929	21,653
受取手形及び売掛金	27,383	27,131
電子記録債権	2,364	2,699
製品	3,430	4,637
原材料及び貯蔵品	1,290	1,672
部分品	4,458	3,692
仕掛品	8,000	8,192
その他	7,057	6,163
貸倒引当金	△753	△680
流動資産合計	81,159	75,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,111	16,149
機械装置及び運搬具（純額）	18,408	18,744
建設仮勘定	4,106	3,584
その他（純額）	6,012	6,237
有形固定資産合計	45,638	44,717
無形固定資産	141	200
投資その他の資産	9,661	11,291
固定資産合計	55,441	56,209
資産合計	136,601	131,373

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,033	13,051
電子記録債務	1,949	1,801
短期借入金	11,842	11,113
1年内返済予定の長期借入金	9,504	9,961
未払金	1,842	2,068
未払法人税等	278	399
賞与引当金	1,346	1,525
役員賞与引当金	82	96
その他	9,412	10,423
流動負債合計	51,292	50,443
固定負債		
長期借入金	17,390	14,633
退職給付に係る負債	1,102	935
その他	5,611	6,007
固定負債合計	24,105	21,576
負債合計	75,397	72,020
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	9,136	9,094
利益剰余金	29,729	29,440
自己株式	△1,031	△4,698
株主資本合計	44,036	40,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,597	4,914
為替換算調整勘定	4,867	5,599
退職給付に係る調整累計額	△491	△383
その他の包括利益累計額合計	7,973	10,130
新株予約権	517	492
非支配株主持分	8,676	8,692
純資産合計	61,204	59,352
負債純資産合計	136,601	131,373

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	134,819	127,412
売上原価	122,245	114,425
売上総利益	12,574	12,986
販売費及び一般管理費	12,411	11,378
営業利益	162	1,607
営業外収益		
受取利息	279	197
受取配当金	232	231
法人税等還付加算金	—	78
デリバティブ評価益	422	309
その他	56	74
営業外収益合計	990	891
営業外費用		
支払利息	691	724
為替差損	1,919	22
開業費	282	272
その他	7	18
営業外費用合計	2,901	1,037
経常利益又は経常損失(△)	△1,748	1,461
特別利益		
固定資産売却益	27	36
受取保険金	—	55
その他	10	2
特別利益合計	37	94
特別損失		
保険解約損	3	43
固定資産廃棄損	24	5
経済補償金	—	103
その他	2,448	1
特別損失合計	2,475	154
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,186	1,401
法人税等	1,301	707
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,487	694
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	230
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,389	464



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,487	694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△444	1,316
為替換算調整勘定	△811	732
退職給付に係る調整額	54	127
その他の包括利益合計	△1,202	2,176
四半期包括利益	△6,689	2,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,677	2,811
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年11月11日に開催した取締役会の決議に基づき、自己株式3,706,700株を取得しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が前期末比3,667百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,698百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用

当社グループは、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号 2024年3月22日）第7項を適用し、当第3四半期連結会計期間を含む対象会計年度に関する国際最低課税額に対する法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	39,219	66,478	29,121	134,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,887	178	132	6,197
計	45,106	66,657	29,253	141,017
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,647	△1,215	△373	58

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	58
セグメント間取引調整額	103
四半期連結損益計算書の営業利益	162

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメント及び「アジア」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「米州」セグメント2,729百万円、「アジア」セグメント515百万円、「調整額」△867百万円となっております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	37,799	65,746	23,865	127,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,607	196	8	4,812
計	42,407	65,943	23,873	132,224
セグメント利益	649	530	277	1,458

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,458
セグメント間取引調整額	149
四半期連結損益計算書の営業利益	1,607

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,822百万円	4,518百万円